



Michigan Newsletter

May 2025

No. 8
ミシガン州経済交流駐在員

経済交流

1. シカゴの全米最大級の食品展示会に初潜入！
2. 姉妹県州の友情の味、ミシガンデーを提供！

ページ 1～2

草の根交流

1. 滋賀に行くのが待ちきれない！
友好親善使節団オリエンテーションを開催

ページ 2～3

ミシガントピック

1. ミシガン・リコネクトを調査！

ページ 3～5

経済交流

1. シカゴの全米最大級の食品展示会に初潜入！

JETRO シカゴより招待いただき、5 月 17日～20 日に、シカゴで開催されたナショナル・レストラン・ショーを視察しました。アメリカ国内外から 2,200 社の出展者、約 58,000 人のバイヤーが集まる全米最大級の食品展示会の1つで、ジェトロシカゴがジャパンパビリオンを設置しており、日本から 19 社が出展されていました。特に、これまでミシガン州にて駐在員がプロモーションを続けているお茶や地酒関連のブースの担当者と、最近の動向や今後の海外進出の計画など情報交換を行いました。



こういった展示会にこれまで何度か参加しているのですが、ブースの出展者ではなく来場者として参加しつつ、ブース出展者に対して自分をアピール、つまり営業をしている人を見かけたことがありました。今回、勇気を出し



て、来場者として参加しつつ、ブース出展者への営業に挑戦しました。何を営業したのかというと、これまでのニュースレターから推測された方もいるかもしれませんが、信楽焼です。東洋系の食器を展示しているブースの出展者に声をかけ、信楽の陶器関連のチラシを配布しました。何度か冷たくあしらわれましたが、なんとか7つほどの出展者が興味を持って話を聞いてくれ、買い付け担当者に情報を共有してもらうことができました。私ができるのは小さなことですが、何かのきっかけにつながればいいと思います。

2. 姉妹県州の友情の味、ミシガンティーを提供！

ミシガン州立大学の所有する教育研修農場(ノバイ市)には、日系企業等の寄付により桜庭園が整備されています。この桜庭園を活用した日本文化発信イベントが開催され、ブースにて滋賀県をPRしました。

冷たい雨の降る中のイベントとなり、外で出店する予定だったブースコーナーはすべて屋内となりましたが、参加者は太鼓や琴などのパフォーマンスや、折り紙体験、輪投げやけん玉の体験、盆栽の展示などを楽しまれています。

滋賀県のブースでは、ミシガンティーの水出し茶の試飲提供(約160 名分)と観光パンフレットの配布を行いました。来場者は比較的若い方が多く、滋賀県の観光情報や JCMU プログラムを知っていただく良い機会となりました。

提供したミシガンティーは、ミシガン産ドライチェリーを使用したブレンドティーで、ほうじ茶ベースで桑茶もミックスされており、カフェインが少ないのが特徴です。ドライチェリーで、今回の花見イベントを祝うのにもピッタリ。参加者に姉妹県州の友情の味を楽しんでももらいました。ほうじ茶ベースなのでさっぱりとして飲みやすい、桑茶が入っていることに気づいた、など反響を頂きました。



草の根交流

1. 滋賀に行くのが待ちきれない！友好親善使節団オリエンテーションを開催

5月10日、ランシング市のミシガン州経済開発公社内会議室にて、7月の友好親善使節団派遣に参加する団員向けの事前オリエンテーションを実施しました。州北部からの参加者の利便性も考慮し、オンライン参加も含めたハイブリッド形式で開催。団員 31 名のうち、21 名が会場に駆けつけてくれました。姉妹県州委員会メンバーのアイデアで、県州委員会の定例会と同日に開催することで、県州委員会のメンバーもオリエンテーションに参加し、これから姉妹都市を訪問する団員と交流する機会にもなりました。



来賓として、在デトロイト日本国総領事館より岸守総領事をお招きしました。岸守総領事には、昨年 12 月の着任以来、ミシガン州と滋賀県の交流に多大なご理解、ご協力をいただいております。今回使節団が滋賀県を訪問するのにあわせて、一時帰国され、大津市内での使節団歓迎式典に参加、その後滋賀県内を視察される予定です。

岸守総領事には、挨拶の中で、アメリカの他の姉妹県州と比べて、ミシガンと滋賀の結びつきがとても強く、儀礼的な関係だけでなく、市民レベルの交流が続いていることの価値について触れていただきました。総領事から語っていただくことで、これから滋賀県を訪問する団員が、ミシガンを代表する団員としての意識を持ち、使節団に参加することに誇りを感じてもらえたのではと思います。

駐在員からは、滋賀県の基礎情報(位置、面積、琵琶湖について)とミシガン州との比較、姉妹県州関係の歴史等について説明しました。さらに、ミシガン滋賀姉妹県州委員会のプロスト会長より、行程やお土産の準備、日



本でのエチケット、ホームステイの心構えなどについて説明があり、参加者は日本の文化にも興味津々で、「いただきます」は家族と声を合わせて言わないといけないのか、「雨が降ったとき傘を差さないと失礼になるのか」(こちらでは雨を振っても傘を差している人はほとんど見ません。)、など質問もたくさん飛び出しました。

団員の皆さんは、7月9日から17日の間に来日、11日から15日の間に滋賀県に滞在され、各姉妹都市等でホームステイされる予定です。

ミシガントピック

1 ミシガン・リコネクトを調査！

2月のニュースレターのホイットマー州知事の施政方針演説の中で、「ミシガン・リコネクト」(地元のコミュニティカレッジにて、25歳以上の人なら誰でも、授業料無料で準学士号または技能証明書を取得できる超党派プログラム)の紹介をさせていただきました。これについて反響を頂き、今回詳しく調査しました。

調査を進めると、この「ミシガン・リコネクト」を含む高等教育へのサポートに加え、他にもユニークなプログラムがあり、ミシガン州民がより良い仕事と高収入を得るための機会を生み出していることがわかりました。今回は、まず、「ミシガン・リコネクト」を含む施策の全体像について紹介したいと思います。

(1) 実施機関

MiLEP(ミシガン州生涯教育・能力開発局)がミシガン・リコネクトをはじめとしたプログラムを実施しています。2023年7月、ホイットマー州知事は、一連の教育の中の両端、つまり幼稚園の未就学児と高校卒業後の若者をより支援する必要性から、このMiLEPを新たに設置することを発表、同年の12月に発足しています。

ホイットマー知事は「あまりにも長い間、教育をK-12(年長～高校)に限定して考えてきたが、それでは十分ではない。」というコメントを出しており、今回、新たに担当省庁を設置することにより、就学前教育へのアクセスを拡大し、さらに、州民の6割が大卒の学位あるいは専門資格を持っている状態を目指すとしています。

ちなみに、ミシガン州教育局が州内の K-12 教育(幼稚園から高校まで)を監督していますが、ホイットマー州知事によると、MiLEAP は州教育局の業務に取って代わるものではなく、補完するものであり、MiLEAP は教育の最終目標により重点を置いているそうです。

(2) 施策の内容

MiLEP の施策は次の 3 つの柱で構成されています。

① 早期教育

すべての幼児が発達の目標を達成し、学校で必要となるツールや能力を持って入学できることを目標とした支援を実施。

② 高等教育

州民全員が必要な技能証明書または学位を取得できるよう支援し、雇用主にとっても必要な人材を採用できるよう支援を実施。

③ 教育パートナーシップ

就学前教育から高等教育まで切れ目のない支援を行い、家族、教育関係者、関係機関がパートナーシップを構築し、学習、発達、健康をサポート、改善することを目標とした取り組みを実施。

(3) 高等教育分野での取り組みについて

このうち、②「高等教育」については、州民がより良い仕事とより高収入を得るための「Sixty by 30」、資金援助を中心とした「MI Student Aid」によって進められており、「ミシガン・リコネクト」は、「Sixty by 30」の取り組みの一つに位置付けられています。

(1)「Sixty by 30」

技能証明書または大学の学位を持つ労働年齢の成人の数を、現在の 51.8% から 2030 年までに 60% に増やすことを目標としています。ちなみに、取り組みが始まったときには、数値は約 50.5% で、一年ほどの間で数値は少しずつ上昇しています。



州の経済活動の活性化にとって最大の脅威となっているのは、スキルギャップだそうです。熟練した従業員を必要とする仕事、そして将来的に期待される仕事は、これまで以上に高度な教育と訓練を必要としており、州民がこういった教育や技能を習得できる機会を提供することで、ミシガン州の競争力が高まり、経済成長につながると考えられています。

この目的を達成するための2つの取り組みが「ミシガン・リコネクト」と「フューチャーズ・フォア・フロンティアーズ」です。



「ミシガン・リコネクト」は、学区内のコミュニティカレッジに授業料を無料、または学区外のコミュニティカレッジに通う場合は授業料を大幅に割引する、ラストドラァー奨学金(学生が大学に通うために必要な費用を、他の奨学金やローン、親からの援助など、あらゆる財源を使い果たした後、最後に残った不足分を補うための奨学金)プログラムです。

応募資格は、以下の通りです。

- ・ 申請時に 25 歳以上であること
- ・ ミシガン州に 1 年以上居住していること
- ・ 高校卒業証書、高等学校卒業資格(GED)、または修了証書を所持していること
- ・ 大学の学位(準学士または学士)をまだ取得していないこと

ミシガン・リコネクトのすごいところは、ミシガン州に 1 年以上居住していて 25 歳以上であれば、他州出身者でも、誰でも対象となることです。技能証明書を取ることを目標にしてもよいし、学位を取ることを目標にしてもよく、授業料が無料なんて本当にいいのだろうかと思うのですが、よりよい仕事に就き税金を払ってもらうことで元が取れる、という発想が根底にあるようです。



「フューチャーズ・フォア・フロンティアーズ」は、2020 年春(4 月 1 日～6 月 20 日)の COVID-19 による州閉鎖期間中に、ミシガン州の必要不可欠な産業で働き、州の運営維持に貢献した、大学を卒業していないミシガン州民を対象に、高校またはコミュニティカレッジの授業料を無償で提供するプログラムです。例えば、食料品店やレストランの従業員、廃棄物処理サービスの提供者、公共交通機関の運行者、警察や消防サービスの従事者などが対象となっています。

(2)「MI Student Aid」

学生に対し、財政支援と情報提供を行い、高等教育への進学を支援するプログラムです。高校卒業予定者への奨学金や、ミシガン州の高校を卒業していれば対象となる「コミュニティカレッジギランティ」という授業料への補助、ミシガン州の公立大学、私立大学、またはコミュニティカレッジの学士号プログラムに在籍している学生への補助など、種類も豊富です。



今回は全体像を俯瞰しましたが、次回以降で、「ミシガン・リコネクト」を深く掘り下げたいと思います。